

## アストロスケール英国、エアバスと軌道上サービスにおける協業の可能性に関する覚書を締結

持続可能な宇宙環境を目指し、スペースデブリ（宇宙ごみ、以下、デブリ）除去を含む軌道上サービスに取り組む株式会社アストロスケールホールディングス（本社：東京都墨田区、代表取締役社長兼 CEO 岡田光信）の英国子会社である AstroScale Ltd（以下、アストロスケール英国）はこの度、Airbus SE の子会社である Airbus Defence and Space（以下、エアバス）との間で、軌道上サービスとデブリ除去における協業の可能性に関する覚書を締結したことをお知らせします。

この戦略的なパートナーシップを通して両社の強みと技術を共有することで、持続可能な宇宙環境の実現や衛星の運用可能年数の延長の課題解決を目指しながら、特に英国における軌道上サービス産業の発展と宇宙の循環型宇宙経済の確立を目指します。

この度の覚書における主な協業分野は下記の通りです。

- デブリ除去：地球の軌道上のデブリを確認、捕獲、そして除去するための画期的な方法の可能性の模索。現在運用中、あるいは将来運用予定の宇宙機の安全を守り、持続可能な宇宙環境を保つために必要な技術となります。また、アストロスケールの今後のミッションでエアバスのロボットアーム「ビスパ」を取り入れる可能性を継続して模索していきます。
- 軌道上サービス：軌道上にある衛星に対してメンテナンス、修理、および改修を行うための技術とソリューションの開発。この技術の発展により、衛星の運用可能年数を延ばし、デブリとなる衛星の数を減らすことで宇宙の運用効率を上げることができます。
- 軌道上の RPO（Rendezvous and Proximity Operations の略、ランデブ・近傍運用）：衛星を安全に捕獲するための技術開発。軌道上サービスとデブリ除去に必要な正確なナビゲーションと捕獲技術の開発を含みます。
- 軌道上での組み立てと製造：宇宙空間で宇宙機の部品を組み立てる新たな可能性の模索。この画期的なアプローチは、資源を再利用することでごみを削減し宇宙ミッションのコストを低減することを可能にし、循環型宇宙経済の実現をサポートします。
- 衛星の燃料補給と寿命延長：軌道上での燃料補給や他のサービスを通じた、既存の衛星の運用と寿命延長の実現。これにより代用の人工衛星の打ち上げの必要性を低減します。

今回のパートナーシップは、技術を促進し持続可能な宇宙利用を確立するという、エアバスとアストロスケール両社のコミットメントを表します。エアバスが持つ衛星開発における豊富な経験とアストロスケールの先進的で宇宙実証済みの RPO と軌道上サービスの技術を掛け合わせることで、安全で効率的な宇宙利用の新たなスタンダードを確立します。

### アストロスケール について

アストロスケールは、軌道上サービスの世界的リーダーとして、安全で持続可能な宇宙開発に取り組んでいます。当社は衛星の寿命延長、故障機や物体の観測・点検、衛星運用終了時のデブリ化防止のための除去、既存デブリの除去など、多様で革新的な軌道上サービスソリューションを提供します。2021年3月以降、アストロスケールは ELSA-d

やADRAS-Jのミッションにおいて軌道上でRPO技術を実証し、軌道上サービスのリーダーとしての地位を確立してきました。アストロスケールの宇宙機は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）や米国宇宙軍、欧州宇宙機関（ESA）、英国宇宙庁（UKSA）、Eutelsat OneWebとの先駆的なミッションに採用されています。宇宙機の定期的な点検、移動、除去、寿命延長のためにより多くの衛星運用者が軌道上サービスを導入し、循環型宇宙経済の可能性が広がり、より持続可能な宇宙の未来が開かれつつあります。本社・R&D拠点の日本をはじめ、英国、米国、フランス、イスラエルとグローバルに事業を展開しています。

アストロスケールウェブサイト：<https://astroscale.com/ja/>